

特定非営利活動法人 日本プロフェッショナルエンジニア協会
第14回通常総会議事録

1 日 時 2014年 6月 7日 13時00分 - 14時20分

2 場 所 東京グランドホテル 4F 芙蓉の間

3 出席者数 26名(欠席者のうち 議決権行使者数 29名、表決委任者数 29名)

4 審議事項

- (1) 第1号議案 2013年度活動報告、及び決算承認の件
- (2) 第2号議案 一部役員交代の件
- (3) 第3号議案 2014年度活動計画案、及び予算案審議の件

5 確認事項

議決権を有する正会員総数は160名、本通常総会では

- 出席者数 : 26名 (なお、出席者にカウントしないがインターネットで7名が視聴)
- 議決権行使者数 : 29名
- 表決委任者数 : 29名

以上により、計 84名の議決権を確保

- ・ 従って、定款第27条に基づく総会定足数 54名を満たしていることを確認。
- ・ 定款第26条により、議長は会長 川村 武也 がこれに当たる。
- ・ 定款第30条により、書記が指名され、正会員 西川 理 がこれに当たる。
- ・ 定款第30条により、議事録署名人が指名され、正会員 鈴木 央、阪井 敦、土屋 雅彦 がこれに当たる。

6 議事の経過の概要及び議決の結果

議長の命を受け、進行役 鈴木 央 が開会を宣し、議事に入った。

(1) 第1号議案 2013年度活動報告、及び決算承認の件

- ・ 会長より2013年度の活動状況についての詳細をスライドを用いて説明。
 - ・ セミナー及び会員交流行事
 - ・ 関係団体との交流
 - ・ ウェブサイトの構成変更
 - ・ 理事会の運営
 - ・ 会員数の推移 等
- ・ 岩下哲会計部会長 より2013年度の決算及び資産保全状況について説明。
 - ・ 活動計算書
 - ・ 貸借対照表
 - ・ 財務諸表の注記
 - ・ 財産目録
 - ・ 比較貸借対照表
- ・ 丹下稔章監事より、2013年度の活動報告に関して理事の執務執行状況および法人の財産状況について監査を実施した結果、法人の活動計算書、貸借対照表、財産目録並びに比較貸借対照表は適正であると認めたと報告。

質問 1-1 「調査研究事業収益」として18万円計上されているが、外部へのコンサルティングなどを実施したのか？（泉山会員）

回答 1-1 東京と神戸で開催したイヤーエンドパーティ参加費及び東京PE受験登録セミナー懇親会費を「調査研究事業」と位置付けて、参加会員から徴収した会費を収益として計上している。（岩下会計部会長）

質問 1-2 未収金の額が80万円と大きいのが、これへの対策が必要では？ またこの費目の扱いは「資産」なのか？（宮川会員）

回答 1-2 未収金の大半は会費未納分であり、ここ数年で増加していることから対策が必要と認識している。会費未納の要因として退会見込み者もあるが、住所やメールアドレスが変更されて連絡が取れない会員が増えているということもある。今後、JSPEの活動に目を向けていただく努力、会費納入依頼連絡、及び連絡先追跡を行っていく。なお、未収金はNPO会計基準により流動資産に位置付けることとなっているが、未納のまま退会された場合は損金扱いとなる。（川村会長および鈴木会員部会長）

・議長の命を受け、進行役が1号議案の審議承認を求めたところ、賛成多数で承認可決された。

(2) 第2号議案 一部役員交代の件

- ・ 議長より、2014年度は役員改選年度ではないが、退任役員に伴い新役員を選出する議案を説明。
- ・ 退任役員2名
理事：掛川 昌俊
監事：丹下 稔章
- ・ 新役員候補5名
理事：山浦 良久、小口 力、森山 亮、寺田 誠二
監事：植村 大輔

(3) 第3号議案 2014年度活動計画案、及び予算案審議の件

- ・ 議長より、第2号議案に引き続き第3号議案である2014年度の活動計画および予算について説明。
活動方針は次の3点を骨子とする。
 1. 会員の交流拡大
 2. PE制度とその精神の日本での普及定着
 3. 当会としての発信力向上
- ・ 予算は会員還元を重視して33万円の赤字予算とする。

質問 3-1 活動計画3の中で示された国内の各種技術者制度とPE制度の接点を見出す活動というのは重要であるが、具体的な活動イメージを知りたい。また役員内で閉じて活動しても限界がある。アクティブな会員を巻き込んだ委員会活動とするアイデアはあるか？（泉山会員）

回答 3-1 ミッションとして掲げたが具体的な目標はこれから決める。切口の1つとして例えばPEでは実現している継続教育制度を国内制度にも取り入れてもらうということがあると考えている。委員会活動として間口を広げることは是非検討したい。（川村会長）

質問 3-2a JSPEとして他団体への講師派遣は可能か？（宮川会員）

回答 3-2a 既に出前セミナーと称し、大学等でPE制度についての説明等を実施している。（川村会長）

質問3-2b 質問の趣旨はシラバスの査定等を目的とした経験の深いPEの需要があるが、協会として対応してもらえるかということ。(宮川会員)

回答3-2b 詳しく話を聞いた上で検討したい。(川村会長)

質問3-3 会員数を10%増加する計画になっているがここ数年の会員数推移を見るとかなり難しいと想定される。具体的な策は何か?(泉山会員)

回答3-3 定年後の会費を下げて、シニア会員制度をつくるというアイデアがある。その場合もただ会費を下げるのではなく、経験を披露してもらうことと合わせて活動の強化に繋げたい。また個人のアイデアであるが、セミナー依頼のあった大学等のキーマンを無料で賛助会員に認定し、JSPEの活動情報を定常的に流すことにより、間接的に参加者や入会者を増やす事もできるのではないかと考えている。(川村会長)

- ・ 議長の命を受け、進行役が第2号議案と第3号議案の承認を求めたところ、賛成多数で承認可決された。
- ・ 新役員5名はその場で就任を承諾した。
- ・ 以上をもって、議案全部の審議を終了したので、進行役は14時20分閉会を宣し、散会した。

7 議事録署名人の選任に関する事項

上記の議決を明確にするため、議事録を作成し、定款第30条の規定により、議長及び議事録署名人(規定では2名以上、今回3名の指名)が記名捺印する。

以上、この議事録が正確かつ真正であることを証します。

2014年6月7日

議長	川村 武也
議事録署名人	鈴木 央
議事録署名人	阪井 敦
議事録署名人	土屋 雅彦

